

亀山御坊お彼岸のご案内

九月二十一日から二十三日までの三日間お彼岸の行事を勤めます。

此の岸から彼の岸に到る仏縁を頂く行事です。此岸とは煩惱の苦楽に明け暮れる娑婆の日常世界。死んだら終いという迷いの世界です。

念仏者はこの娑婆界で老・病・死を修行して、仏智に目覚め、迷いの「我執」を捨てて信心一つで浄土のさとりにいたりします。これを彼の国に到ると言う事から到彼岸と言います。

しかし、人と生まれたものの、浄土のさとりに至らしめんとする仏の願に気付く人は希です。

仏様に、終生、問題とされ、目覚めてくれと願われて「私」の本性と向かいあった時、浄土真宗の「お念仏」の世界が開かれます。

本徳寺有縁の皆様方に、左記お彼岸のご案内を申し上げます。

九月二十一日から二十三日まで

午前七時半 正信偈勤行引き続き法話

午前十時 門信徒勤行引き続き説教

午後一時 彼岸会勤行引き続き説教

布教使 善徳寺 望月覚師

●御坊の晨朝勤行へのご案内

亀山本徳寺では毎日、朝七時半から、お晨朝がつとまります。常時は近傍の方が参加されますが、土日には遠方からもこられます。本願寺と同じように、正信偈六首引・繰り読みです。本堂のお勤めの後、蓮如堂で讃仏偈をお勤めし、最後にご法話があります。朝のお勤めはなかなか清々しいものです。お誘い合わせの上ご参加下さい。

●本堂管理型納骨壇のご案内

昔から播州の真宗門徒はご遺骨を本願寺や本徳寺に納めていました。ながい伝統で、今も播州一円から本徳寺納骨が続いています。近年、墓じまいや家族形態の変化の関係で、合葬で土に返すまで個別に安置したい、というご要望が多くなりました。そのようなご要望にこたえて新たに本堂裏に個人使用の納骨壇を新設いたしました。ご希望あるいはご関心のある方は左記本徳寺寺務所までご相談ください。(使用冥加は四十五万から二百万円)



亀山本徳寺 寺務所 (079-235-0242)